

教科(科目)	国語(国語総合)	単位数	4単位	学科・学年・コース・組	1年次～
使用教科書	第一学習社『高等学校 改訂版 新編国語総合』				
副教材等	大修館書店『トータルサポート新国語便覧』・三省堂『現代新国語辞典 第六版』 ・実教出版『基礎からの漢字学習 基本編 三訂版』				

1 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 指導の重点

- ①文章の読解力を身に付ける。
- ②口語と文語の違いを理解し、平易な古文を読めるようにする。
- ③漢文の訓読方法と決まりを学び、平易な漢文を読めるようにする。

3 学習の計画

学期	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	○ガイダンス	・学習の仕方(目標・年間計画・評価について)を確認する。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・課題 ・提出物(プリント・ファイル等) ・定期考査
	○随想(1)	・さまざまな事ごとに興味を持ち、ものの見方や考え方を広げる。 ・随想を読んで、筆者がどのような事ごとに着目し、それについてどのように考えているかを読み取る。	7	
	○小説(1)	・小説に描かれた話の展開をとらえる。 ・登場人物の心情を表現に即して読み取る。	7	
	○辞典の使い方	・国語辞典と古語辞典の使い方を学ぶ。	1	
	○古文(1)	・口語と文語の違いを理解する。	7	
	○漢文(1)	・訓読の方法と決まりを学ぶ。	7	
	○表現の実践(1)	・よりよい表現方法を学ぶ。	5	
	定期考査①		1	
	○評論(1)	・筆者の考えや主張を読み取る。	8	
	○小説(2)	・小説に描かれた話の展開をとらえる。 ・登場人物の心情を表現に即して読み取る。	7	
	○古文(2)	・古典に対する親しみを深める。	6	
	○漢文(2)	・訓読法に慣れ、漢文を読むことに親しむ。	6	
	○詩歌	・詩を読み味わう。	6	
定期考査②		1		
後期	○随想(2)	・さまざまな事ごとに興味を持ち、ものの見方や考え方を広げる。 ・随想を読んで、筆者がどのような事ごとに着目し、それについてどのように考えているかを読み取る。	7	
	○小説(3)	・小説を読み、登場人物の心情等を読み取る。 ・主題を的確に捉える。	7	
	○古文(3)	・古典に対する親しみを深める。	7	
	○漢文(3)	・訓読法に慣れ、漢文を読むことに親しむ。	7	
	○表現の実践(2)	・よりよい表現方法を学ぶ。	6	

	定期考査③		1	
○評論 (2)		・筆者の考えや主張を読み取る。	8	
○小説 (4)		・小説を読み、登場人物の心情等を読み取る。	7	
○短歌・俳句		・主題を的確に捉える。 ・短歌・俳句を鑑賞し味わう。	6	
○古文 (4)		・古典に対する親しみを深める。	7	
○漢文 (4)		・訓読法に慣れ、漢文を読むことに親しむ。	6	
	定期考査④		1	

4 課題・提出物等

・学習プリント (毎時間) ・ファイル (年4回程度) ・各単元で課された課題 ・長期休暇中課題
--

5 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、・出席 ・授業態度 ・提出物 (プリント・ファイル等) ・定期考査 などから、総合的に評価します。				

6 担当者から一言

国語に関する総合的な科目です。現代文・古典 (古文・漢文) ・表現に関する教材を幅広く取り上げ、文章を正しく理解すること、自分の考えを適切に表現することを学びます。
--

国語表現

教科(科目)	国語(国語表現)	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	2年次～
使用教科書	大修館『国語表現 改訂版』				
副教材等	京都書房『新訂国語図説 四訂版』・大修館書店『明鏡国語辞典 第二版』 ・実教出版『基礎からの漢字学習 基本編 三訂版』				

1 学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 指導の重点

- ①話題や題材に応じて情報を収集・分析し、考えを深めたりまとめたりする力を身につける。
- ②相手の立場や異なる考えしながら、課題を解決する力を身につける。
- ③様々な表現に触れることで、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする姿勢を身につける。
- ④言葉の成り立ち、表現の特色および言語の役割について理解を深める。

3 学習の計画

学期	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	○ガイダンス	・学習の仕方(目標・年間計画・評価について)を確認する。 ・文章と表現の基礎について学ぶ。 ・主語と述語の関係や、句読点の打ち方、文のつなぎ方などを学び、わかりやすく整った文を書けるようにする。 ・小論文とは何か、小論文を書くための手法を学ぶ。 ・自分を見つめ、自分を知ることで表現の土台を作る。 ・将来につながる効果的な自己PRの方法を学ぶ。	1	・出席 ・授業態度 ・課題 ・提出物(プリント・ファイル等)
	○書いて伝える 定期考査①		6	
	○小論文・レポート入門		9	
	○自己PRと面接 定期考査②		5	
後期	○メディアを駆使する	・相手や目的に合った通信文について学ぶ。 ・改まった場面での電話のやりとりを練習する。 ・電子メールのエチケットや正しい使い方を学ぶ。 ・朗読劇やショートスピーチを通して、人前でわかりやすく話す練習をする。 ・場面に応じた話し方(言葉遣いなど)を学ぶ。 ・生産的で爽やかな話し合いの進め方について学ぶ。	9	・小テスト ・単元テスト ・スピーチ
	○声とコミュニケーション 定期考査③		9	
	○会話・議論・発表		1	
	○一年間のまとめ 定期考査④		6	
			3	
			1	

4 課題・提出物等

・学習プリント(毎時間)・ファイル(年4回程度)・各単元で課された課題

5 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	/	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身につけている。
以上の観点を踏まえ、出席・授業態度・提出物(プリント・ファイル等)・定期考査・スピーチなどから、総合的に評価します。				

6 担当者から一言

話すこと・書くことに関する知識を充実し、表現能力を高めます。特に、進学や公務員試験のために小論文・作文を必要とする生徒の履修を望みます。

教科 (科目)	国語 (現代文A)	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	2年次～
使用教科書	三省堂『現代文A』				
副教材等	京都書房『新訂国語図説 四訂版』・大修館書店『明鏡国語辞典 第二版』				

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 指導の重点

- ①言語文化について探求し、理解する。
- ②論理的な文章に対する読解力を身に付ける。
- ③作者の心の動きを理解し、感動を共有する。
- ④様々な文章を読み、自分なりの考えを持つようにする。
- ⑤読書に親しむ態度を身に付ける。

3 学習の計画

学期	単元名	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
前期	○ガイダンス ○小説 (1) ○評論 (1) ○言語活動 (1) ○随想 (1) ○小説 (2) ○評論 (2) 定期考査②	・学習の仕方 (目標・年間計画・評価について) を確認する。	1	・出席 ・授業態度 ・課題 ・提出物 (プリント・ファイル等) ・定期考査
		・人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説特有の表現を味わう。	6	
		・論理の展開や要旨を的確にとらえる。	7	
		・音読を通して、内容を正しく理解する。	3	
		定期考査①	1	
		・筆者のものの見方、考え方、感じ方を読み取る。	4	
		・人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説特有の表現を味わう。	6	
・論理の展開や要旨を的確にとらえる。	6			
	定期考査②		1	
後期	○小説 (3) ○随想 (2) ○評論 (3) ○小説 (4) ○評論 (4) ○言語活動 (2) 定期考査④	・人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説特有の表現を味わう。	6	・出席 ・授業態度 ・課題 ・提出物 (プリント・ファイル等) ・定期考査
		・筆者のものの見方、考え方、感じ方を読み取る。	4	
		・論理の展開や要旨を的確にとらえる。	7	
		定期考査③	1	
		・人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説特有の表現を味わう。	5	
		・論理の展開や要旨を的確にとらえる。	6	
		・設定したテーマに関して調べて考察し、発表する。	5	
	定期考査④		1	

4 課題・提出物等

・学習プリント (毎時間) ・ファイル (年4回程度) ・各単元で課された課題 ・長期休暇中課題

5 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。
以上の観点を踏まえ、出席・授業態度・提出物（プリント・ファイル等）・定期考査・スピーチ などから、総合的に評価します。				

6 担当者から一言

近代以降の作品の読解・鑑賞を通して、ものの見方・考え方を深めるとともに、表現力や言語感覚を磨きます。

教科 (科目)	国語 (現代文B)	単位数	4単位	学科・学年・コース・組	2年次～
使用教科書	第一学習社『高等学校 改訂版 標準現代文B』				
副教材等	京都書房『新訂国語図説 四訂版』・大修館書店『明鏡国語辞典 第二版』				

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 指導の重点

- | | |
|--|--|
| ①論理的な文章に対する読解力を身に付ける。
②作者の心の動きを理解し、感動を共有する。
③様々な文章を読み、自分なりの考えを持つようにする。 | ④読み、思考した上で、表現する能力を高める。
⑤読書の大切さを知り、読書する習慣を身につける。 |
|--|--|

3 学習の計画

学期	単元名	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
前期	○ガイダンス	・学習の仕方 (目標・年間計画・評価について) を確認する。	1	・出席 ・授業態度 ・課題 ・提出物 (プリント・ファイル等) ・定期考査
	○随想 (1)	・音読を通して、内容を正しく読み取る。	9	
	○小説 (1)	・筆者のものの見方、考え方、感じ方を読み取る。	11	
	○評論 (1)	・音読を通して、文学的な文章を味わう。 ・登場人物や人物の心情、時代設定を読み取る。	12	
	定期考査①	・音読を通して、内容を正しく理解する。 ・話題になっている事柄について、情報を収集する。 ・筆者の主張を正しくとらえ、自分の考えを持つ。	1	
	○詩・短歌・俳句	・音読により、リズムと構成を理解する。 ・様々な修辭法と、その効果を理解する。 ・作者の心の動きを理解し、作者の感動を共有する。	9	
	○言語活動 (1)	・創作活動の楽しみを知る	7	
	○小説 (2)	・人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説特有の表現を味わう。 ・伏線、暗示などをおさえ、物語の展開を予測しながら読む力をつける。	9	
	○評論 (2)	・文章の展開をとらえることで、その論理性を理解する。 ・筆者の主張を正しくとらえ、自分なりの考えを筋道立てて表現する。	10	
	定期考査②		1	

後期	○小説 (3)	定期考査③	・人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説特有の表現を味わう。	12	
	○評論 (3)		・伏線、暗示などをおさえ、物語の展開を予測しながら読む力をつける。	13	
	○実用文章	・文章の展開をとらえることで、その論理性を理解する。	9		
	○小説 (4)	・筆者の主張を正しくとらえ、自分なりの考えを筋道立てて表現する。	10		
	○随想 (2)	・事物や事実を伝える文章を読み、内容を的確にとらえる。	1		
	○言語活動 (2) ○一年間のまとめ	定期考査④	・人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説特有の表現を味わう。	8	
			・伏線、暗示などをおさえ、物語の展開を予測しながら読む力をつける。	10	
			・筆者のものの見方、考え方、感じ方を読み取る。	6	
			・論理の展開や要旨を的確にとらえる。	1	
			・設定したテーマに関して調べて考察し、発表する。		

4 課題・提出物等

・学習プリント (毎時間) ・ファイル (年4回程度) ・各単元で課された課題 ・長期休暇中課題

5 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。
以上の観点を踏まえ、出席 ・ 授業態度 ・ 提出物 (プリント・ファイル等) ・ 定期考査 ・ スピーチ などから、総合的に評価します。				

6 担当者から一言

近代以降の作品の読解・鑑賞を通して、ものの見方・考え方を深めるとともに、表現力や言語感覚を磨きます。

教科(科目)	国語(古典A)	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	2年次～
使用教科書	第一学習社『標準古典A 物語選』				
副教材等	京都書房『新訂国語図説 四訂版』・古語辞典・漢和辞典				

1 学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

2 指導の重点

- ①様々な古典作品に触れる。②古典の世界に興味を持つ。③古文・漢文を読み、内容を正しく理解する。
- ④古典と現代文の世界とを関連づけて考え、自国の伝統と文化について理解を高める。

3 学習の計画

学期	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	○ガイダンス	・学習の仕方(目標・年間計画・評価について)を確認する。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・課題 ・提出物 (プリント・ファイル等) ・定期考査
	○現代仮名遣い・古語に親しむ	・古語辞典の使い方を知る	5	
	○説話を読む	・古今著聞集	5	
	○漢文に親しむ	・漢文の訓読に慣れる	5	
	定期考査①		1	
	○物語(一)	・伊勢物語	4	
	○随筆	・枕草子	5	
	○故事・漢詩	・故事・漢詩	5	
	○言語活動(一)	・伝統と文化に関する文章を読み、理解を深める。	3	
	定期考査②		1	
後期	○日記	・更級日記	5	
	○和歌	・万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	6	
	○史話	・十八史略	5	
	定期考査③		1	
	○物語(二)	・源氏物語	7	
	○思想	・孟子・老子	6	
	○言語活動(二)	・伝統と文化に関する文章を読み、理解を深める。	3	
	定期考査④		1	

4 課題・提出物等

・学習プリント(毎時間)・ファイル(年4回程度)・各単元で課された課題

5 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を高めようとしている。	/	/	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。
以上の観点を踏まえ、出席・授業態度・提出物(プリント・ファイル等)・定期考査などから、総合的に評価します。				

6 担当者から一言

科(科目)	国語(教養国語)	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	3年次～
使用教科書	第一学習社『高等学校 国語表現』				
副教材等	京都書房『新訂国語図説 四訂版』・大修館書店『明鏡国語辞典 第二版』				

1 学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。基礎知識・一般常識(国語分野)を確実に習得することで、社会人にふさわしい教養を身に付ける。また、推薦入試や就職試験・公務員試験に対応できる力を養い、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 言語感覚を磨き、表現された言葉に込められた意図や心情を深く理解する力を養い、必要な語彙の充実を図り、社会人として不可欠な表現力を養う。
- ② 日常生活の中で役立つ実用的な知識・教養を身に付けることにより、卒業後の社会生活に活用できる言語の基礎を作る。
- ③ 推薦入試や就職試験・公務員試験等に向けて、実践的な内容を効果的に学習し、より多くの基礎知識を習得する。

3 学習の計画

学期	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	○表現の楽しみ	・就職試験、公務員試験の一般教養の傾向と対策 ・表現の楽しさを味わう ・作品を鑑賞し表現のおもしろさを感じる	14	・出席 ・授業態度 ・課題 ・提出物 (プリント・ファイル等) ・小テスト ・単元テスト
	定期考査①		1	
	○表現のあり方	・漢字の書き取りと音訓欄語 ・熟字慣用語 ・反対語類義語 ・有名な作品の冒頭	19	
	定期考査②		1	
後期	○表現の実践	・一般的な手紙の書き方 ・紹介文の必要性と特徴 ・短歌の形式と意義 ・短歌作成	14	
	定期考査③		1	
	○表現の探求	・目的や場に応じた効果的な話し方 ・考えの発表 ・発表と話しを聴く態度 ・敬語の性質の理解と使い分け ・日本語の文法、語彙、表記の特徴の理解	19	
	定期考査④		1	

4 課題・提出物等

・学習プリント(毎時間)・ファイル(年4回程度)・各単元で課された課題

5 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	/	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身につけている。
以上の観点を踏まえ、出席・授業態度・提出物（プリント・ファイル等）・定期考査・スピーチ などから、総合的に評価します。				

6 担当者から一言

「漢字1字の読み」から始まって、「熟語・慣用句」の読み、「熟語」「同訓異字・同音異義語」の書き取りから、「故事成語・ことわざ」「文学史」の基礎的知識を身に付けます。一般教養として、日本語の実用的な知識の習得をはかります。